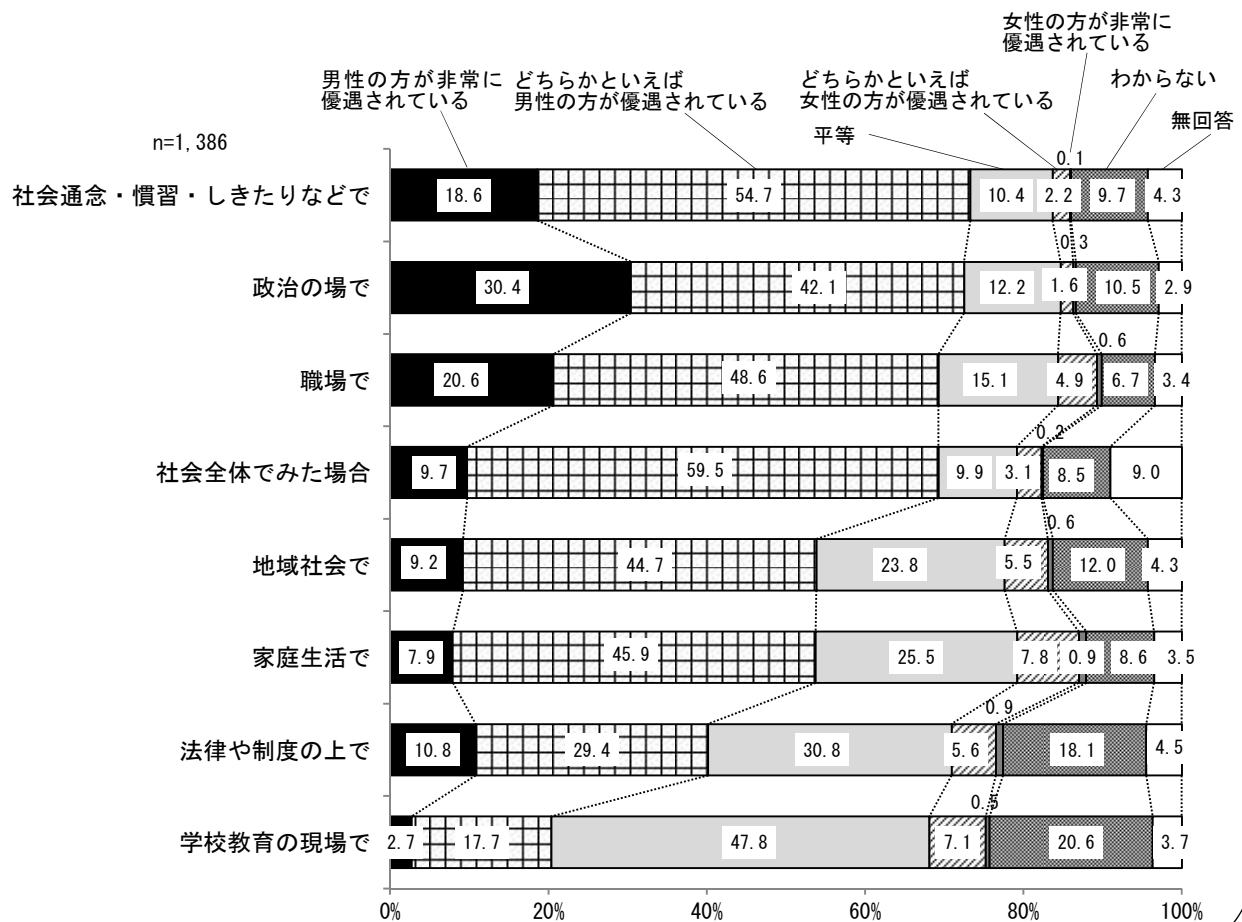


## 2. 男女の地位の平等などについて

### (1) 各分野・社会全体における男女の地位の平等意識

問5 あなたは次にあげる分野で男女の地位は平等になっているとお考えですか。それぞれについてお答えください。(○印はそれぞれ1つ)

【図表 5-1 各分野・社会全体における男女の地位の平等意識】



#### ◆「学校教育の現場で」以外では『男性が優遇』されていると強く感じられている

各分野・社会全体における男女の地位の平等意識について、『男性が優遇』（「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた割合）は「社会通念・慣習・しきたりなどで」、「政治の場で」、「職場で」、「地域社会で」、「家庭生活で」で5割を超えている。一方、「学校教育の現場で」は「平等」が高くなっている。

また、「社会全体で見た場合」は『男性が優遇』が7割となっている。

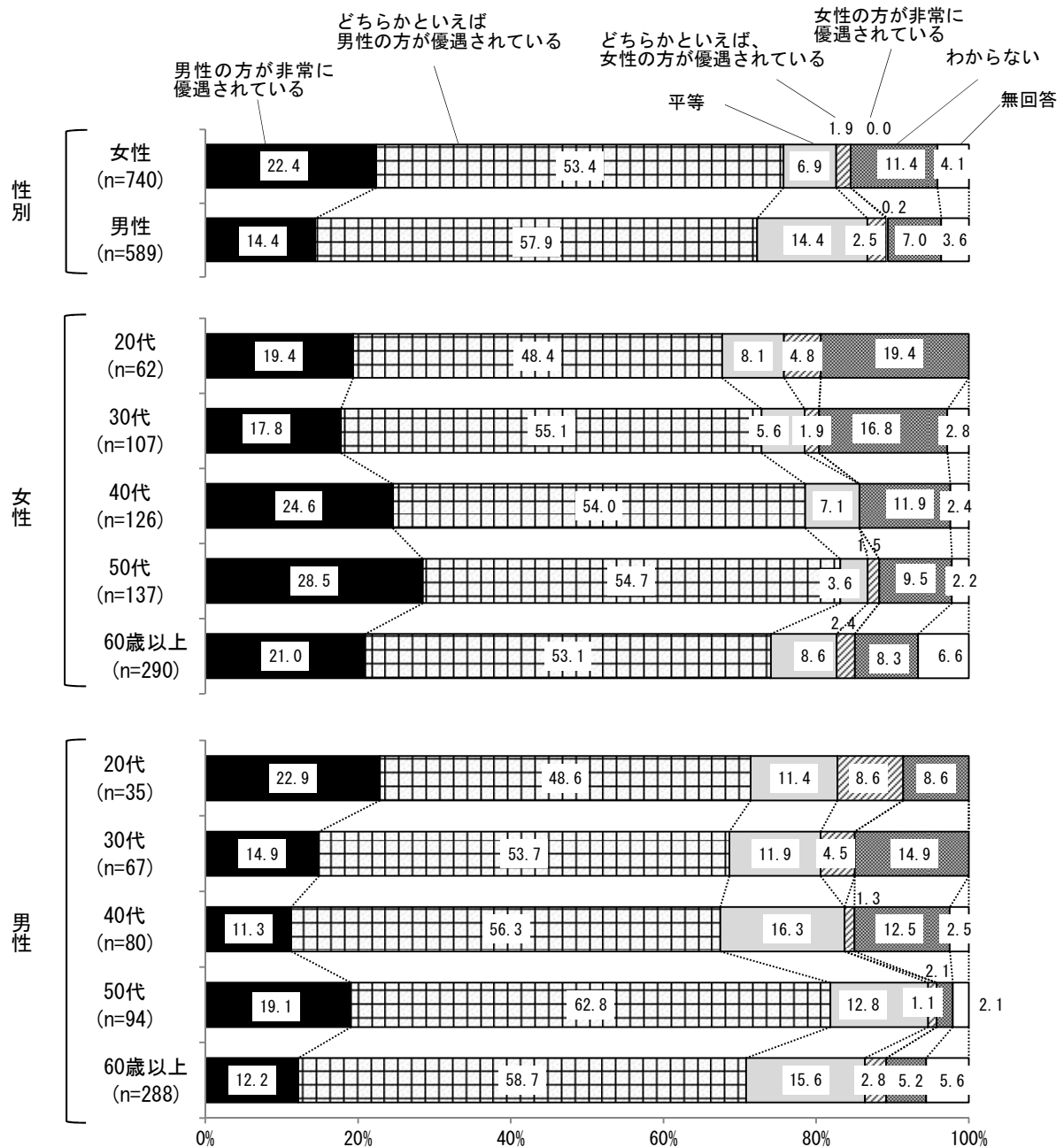
①「社会通念・慣習・しきたりなどで」

<性別、性・年齢別>

性別にみると、「平等」は男性（14.4%）が女性（6.9%）を7.5ポイント上回っている。

性・年齢別にみると、女性は、年齢が上がるにつれて『男性が優遇』の割合が高くなる傾向にある。男性は、50代（81.9%）で最も高くなっている。

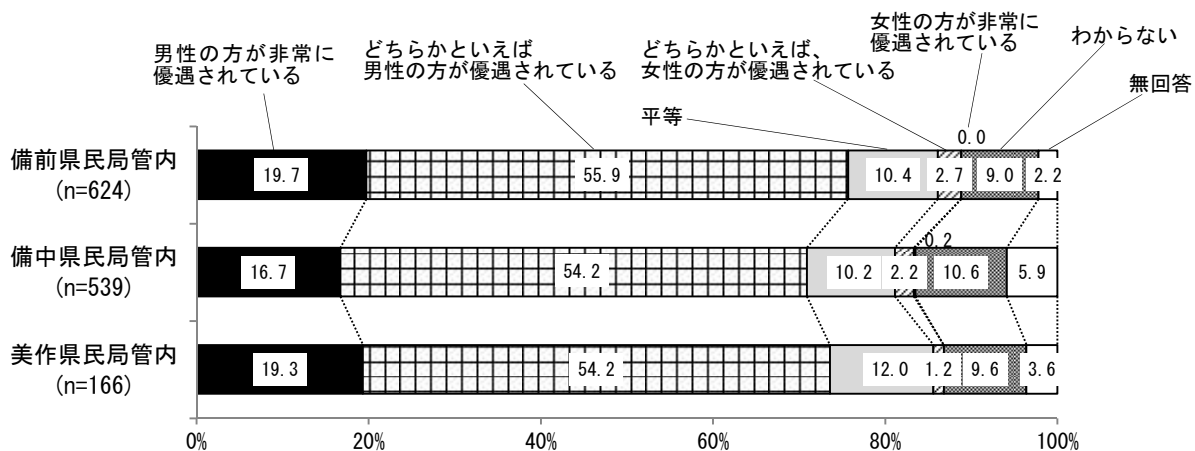
【図表 5-1-1 社会通念・慣習・しきたりなどで（性別、性・年齢別）】



<地域別 1>

すべての地域で、『男性が優遇』は7割を超えており、大きな差はみられない。

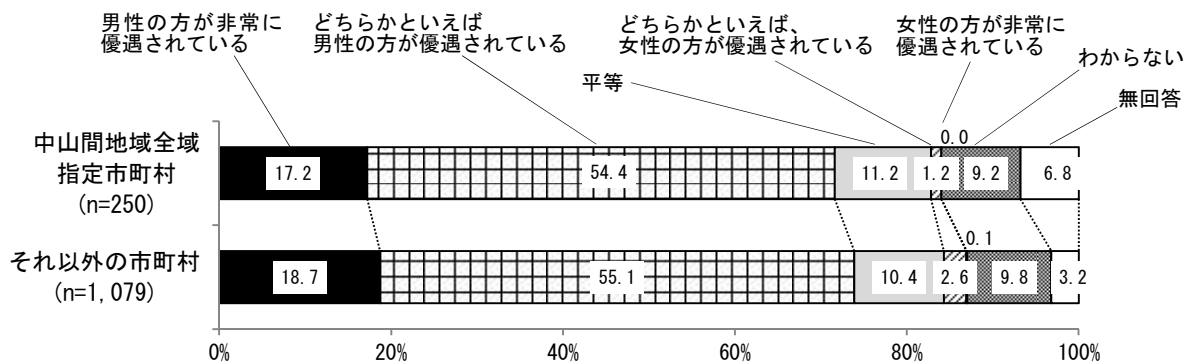
【図表 5-1-2 社会通念・慣習・しきたりなどで（地域別 1）】



<地域別 2>

いずれの地域も、『男性が優遇』は7割を超えており、大きな差はみられない。

【図表 5-1-3 社会通念・慣習・しきたりなどで（地域別 2）】



<前回調査との比較>

H21年調査と比べると、『男性が優遇』は7.1ポイント上昇している。

【図表 5-1-4 社会通念・慣習・しきたりなどで（前回調査との比較）】

(単位:%)

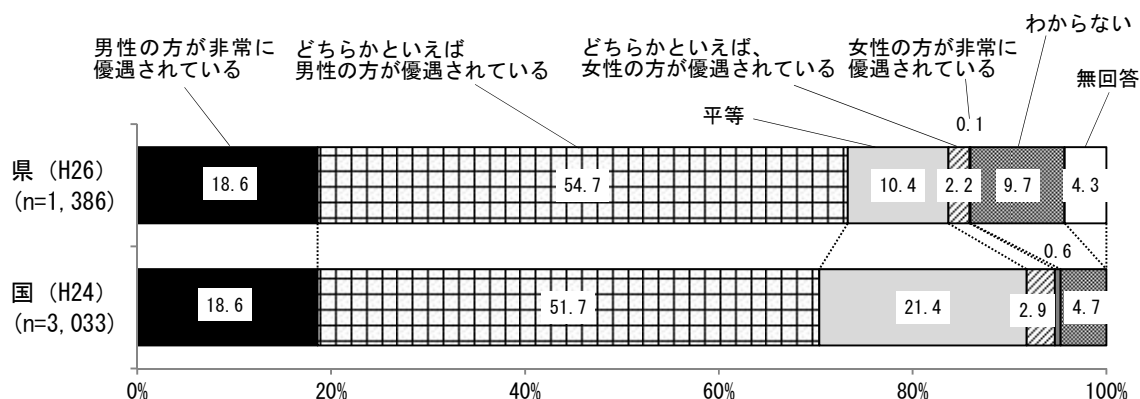
|     | 男性の方が非常に優遇されている | どちらかといえば男性の方が優遇されている | 平等   | わからない | どちらかといえば女性の方が優遇されている | 女性の方が非常に優遇されている | 男性の方が優遇されている計 | 女性の方が優遇されている計 |
|-----|-----------------|----------------------|------|-------|----------------------|-----------------|---------------|---------------|
| H12 | 26.9            | 50.1                 | 8.8  | 9.5   | 1.5                  | 0.4             | 77.0          | 1.9           |
| H16 | 24.7            | 53.0                 | 7.6  | 9.0   | 2.0                  | 0.3             | 77.7          | 2.3           |
| H21 | 15.4            | 50.7                 | 11.0 | 10.1  | 2.2                  | 0.7             | 66.2          | 2.9           |
| H26 | 18.6            | 54.7                 | 10.4 | 9.7   | 2.2                  | 0.1             | 73.3          | 2.3           |

※図表 5-1-4 は前回調査と同様に、男性の方が優遇されている計、女性の方が優遇されている計は「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の件数の合計を回答者の総数で割って集計している。そのため、「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の割合の合計と一致しない場合がある。

<国調査との比較>

国調査と比べると、「平等」は県調査(10.4%)が国調査(21.4%)を11.0ポイント下回っている。

【図表 5-1-5 社会通念・慣習・しきたりなどで（国調査との比較）】



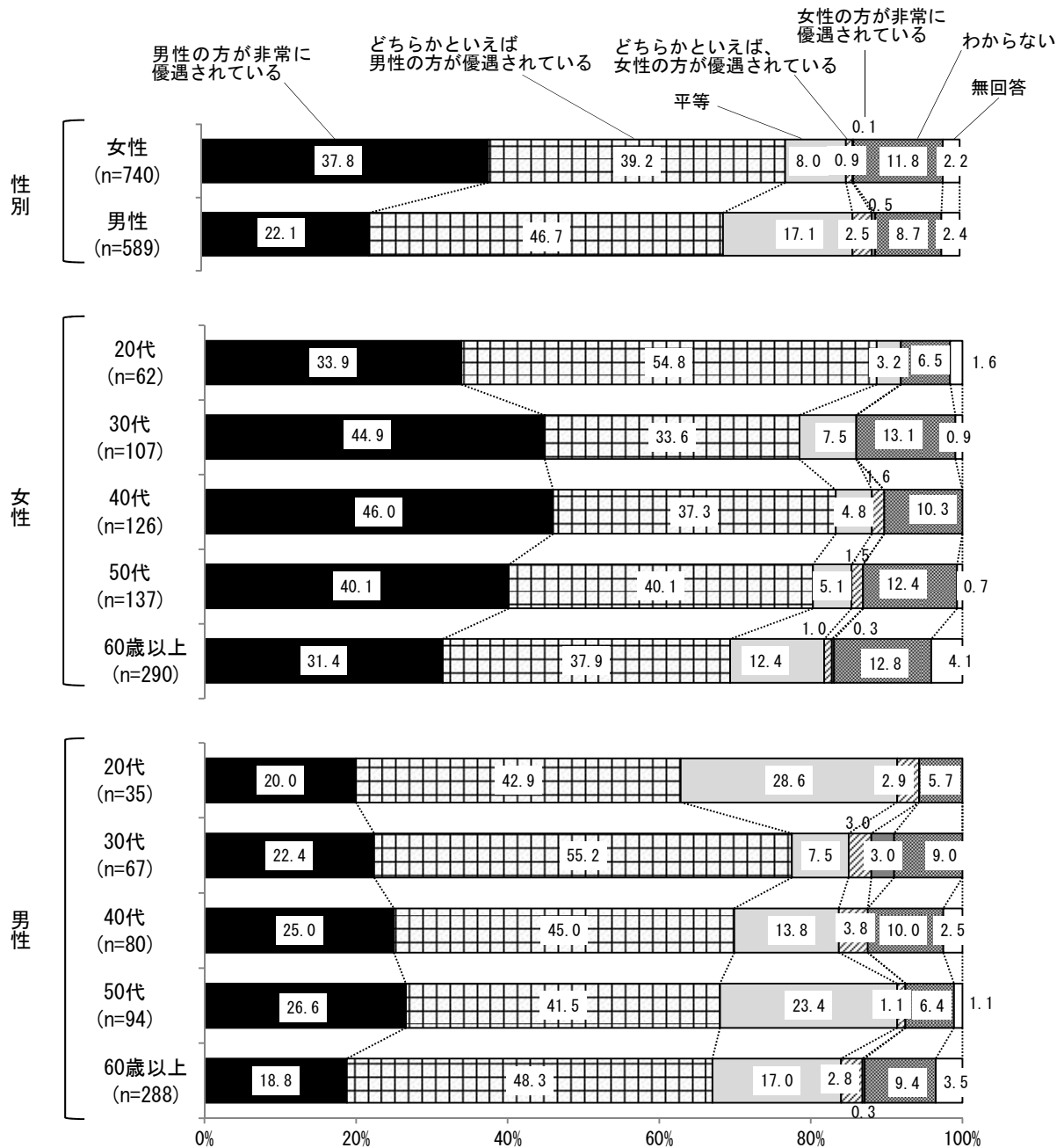
## ②「政治の場で」

### <性別、性・年齢別>

性別にみると、「平等」は男性（17.1%）が女性（8.0%）を9.1ポイント上回っている。

性・年齢別にみると、女性は、年齢が上がるにつれて『男性が優遇』の割合が低くなる傾向にあり、男性は、『男性が優遇』が30代（77.6%）で最も高くなっている。

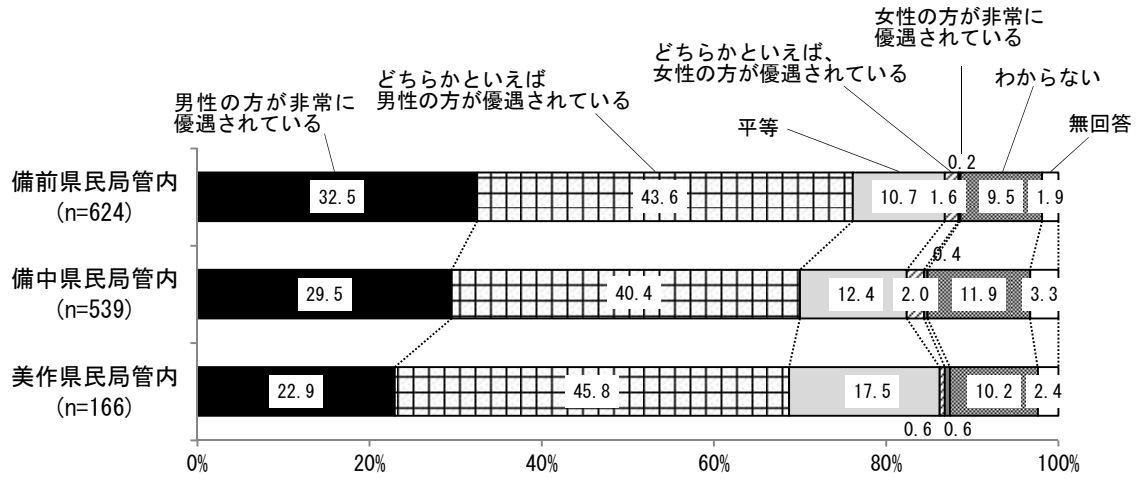
【図表 5-2-1 政治の場で（性別、性・年齢別）】



<地域別 1>

すべての地域で、「平等」は1割を超えており、美作県民局管内は17.5%と最も高く、備前県民局管内は10.7%と最も低くなっている。

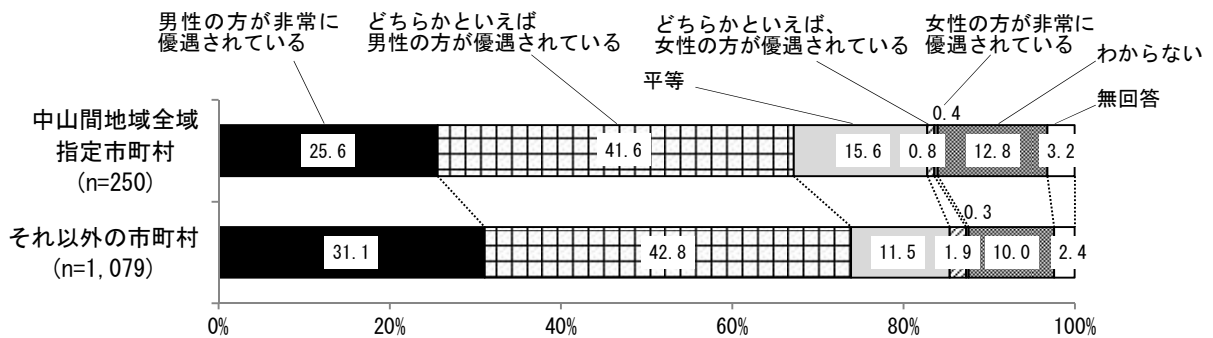
【図表 5-2-2 政治の場で（地域別 1）】



<地域別 2>

『男性が優遇』は中山間地域全域指定市町村(67.2%)がそれ以外の市町村(73.9%)を6.7ポイント下回っている。

【図表 5-2-3 政治の場で（地域別 2）】



＜前回調査との比較＞

H21年調査と比べると、『男性が優遇』は11.5ポイント上昇し、『平等』は5.0ポイント低下している。

【図表 5-2-4 政治の場で（前回調査との比較）】

(単位: %)

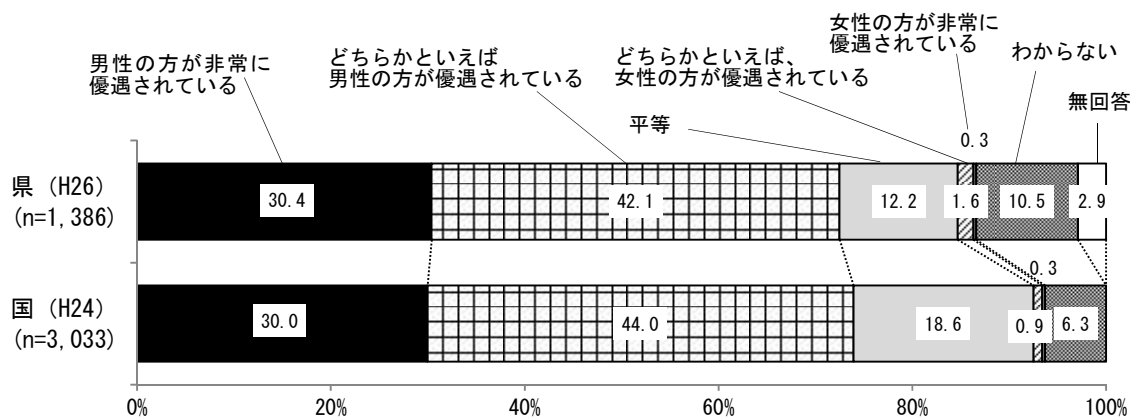
|     | 男性の方が非常に優遇されている | どちらかといえば男性の方が優遇されている | 平等   | わからない | どちらかといえば女性の方が優遇されている | 女性の方が非常に優遇されている | 男性の方が優遇されている計 | 女性の方が優遇されている計 |
|-----|-----------------|----------------------|------|-------|----------------------|-----------------|---------------|---------------|
| H12 | 30.8            | 41.3                 | 14.8 | 7.9   | 1.2                  | 0.1             | 72.1          | 1.3           |
| H16 | 32.1            | 42.8                 | 10.9 | 10.0  | 1.0                  | 0.1             | 74.9          | 1.1           |
| H21 | 19.5            | 41.5                 | 17.2 | 11.0  | 1.5                  | 0.5             | 61.0          | 2.1           |
| H26 | 30.4            | 42.1                 | 12.2 | 10.5  | 1.6                  | 0.3             | 72.5          | 1.9           |

※図表 5-2-4 は前回調査と同様に、男性の方が優遇されている計、女性の方が優遇されている計は「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の件数の合計を回答者の総数で割って集計している。そのため、「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の割合の合計と一致しない場合がある。

＜国調査との比較＞

国調査と比べると、『平等』は県調査（12.2%）が国調査（18.6%）を6.4ポイント下回っている。

【図表 5-2-5 政治の場で（国調査との比較）】



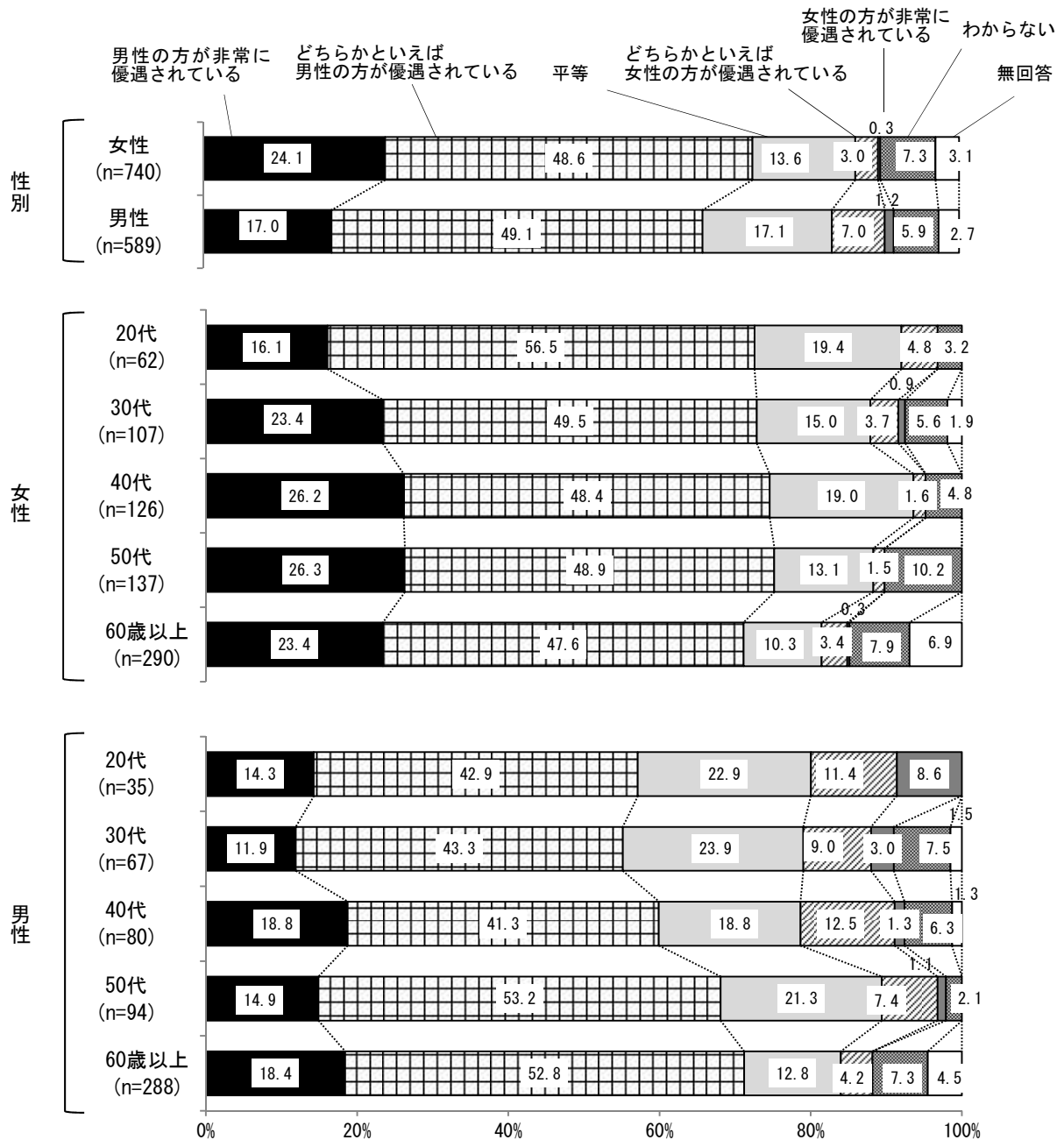
### ③「職場で」

#### <性別、性・年齢別>

性別にみると、『男性が優遇』は女性（72.7%）が男性（66.1%）を6.6ポイント上回っている。

性・年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「平等」の割合が低下する傾向にある。男性は60歳以上で「平等」（12.8%）が最も低くなっている。

【図表 5-3-1 職場で（性別、性・年齢別）】

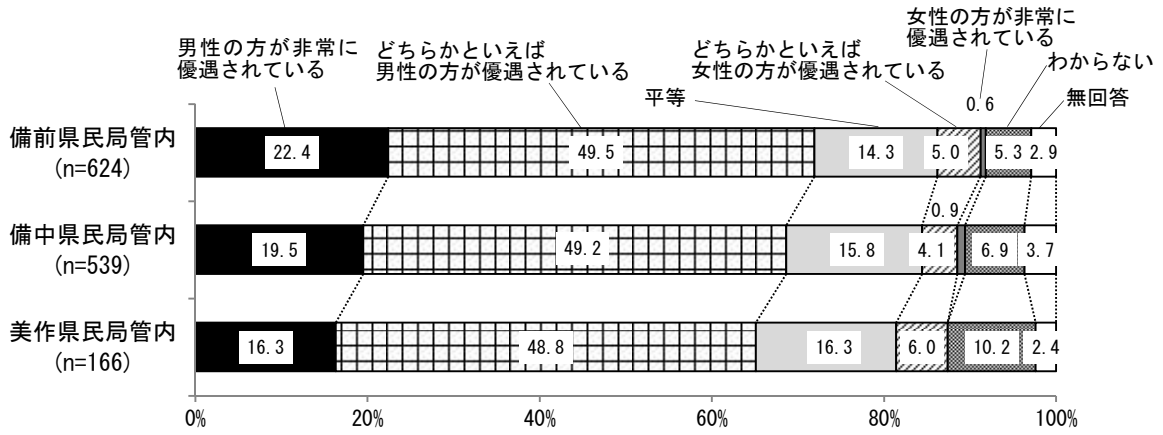




<地域別 1>

すべての地域で、『男性が優遇』は6割を超えており、備前県民局管内は71.9%と最も高く、美作県民局管内は65.1%と最も低くなっている。

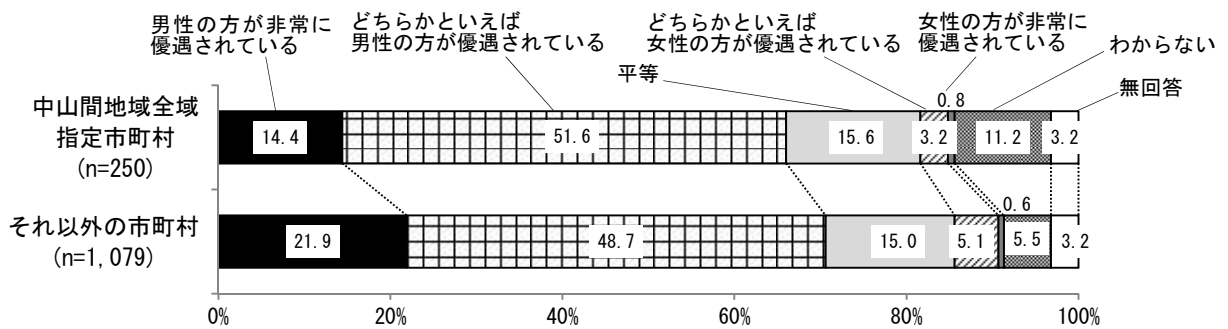
【図表 5-3-2 職場で（地域別 1）】



<地域別 2>

『男性が優遇』は中山間地域全域指定市町村(66.0%)がそれ以外の市町村(70.6%)を4.6ポイント下回っている。

【図表 5-3-3 職場で（地域別 2）】



＜前回調査との比較＞

H21年調査と比べると、『男性が優遇』、『女性が優遇』、『平等』の割合はほぼ横ばいで、大きな変化はみられない。

【図表 5-3-4 職場で（前回調査との比較）】

(単位: %)

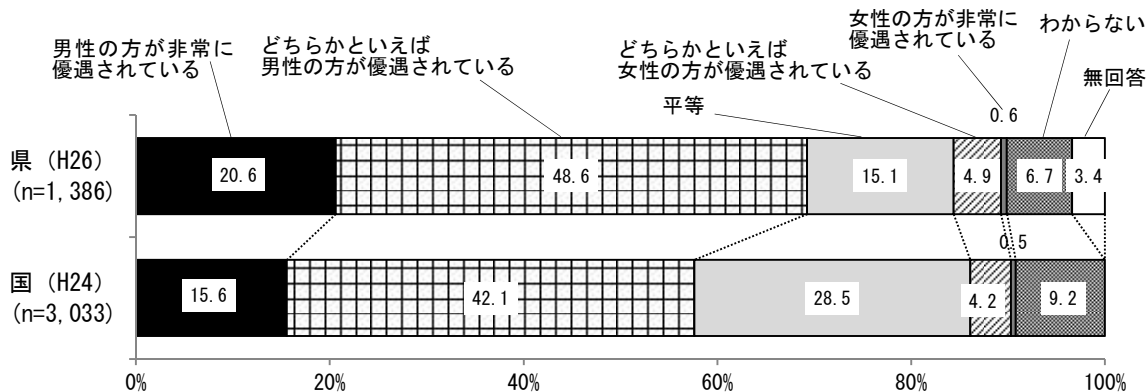
|     | 男性の方が非常に優遇されている | どちらかといえば男性の方が優遇されている | 平等   | わからない | どちらかといえば女性の方が優遇されている | 女性の方が非常に優遇されている | 男性の方が優遇されている計 | 女性の方が優遇されている計 |
|-----|-----------------|----------------------|------|-------|----------------------|-----------------|---------------|---------------|
| H12 | 25.5            | 49.4                 | 10.8 | 6.5   | 3.6                  | 0.7             | 74.9          | 4.3           |
| H16 | 23.5            | 49.9                 | 11.0 | 8.2   | 3.9                  | 0.3             | 73.4          | 4.2           |
| H21 | 19.1            | 46.0                 | 13.0 | 8.2   | 4.4                  | 0.8             | 65.0          | 5.2           |
| H26 | 20.6            | 48.6                 | 15.1 | 6.7   | 4.9                  | 0.6             | 69.3          | 5.6           |

※図表 5-3-4 は前回調査と同様に、男性の方が優遇されている計、女性の方が優遇されている計は「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の件数の合計を回答者の総数で割って集計している。そのため、「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の割合の合計と一致しない場合がある。

＜国調査との比較＞

国調査と比べると、「平等」は県調査（15.1%）が国調査（28.5%）を13.4ポイント下回っている。

【図表 5-3-5 職場で（国調査との比較）】



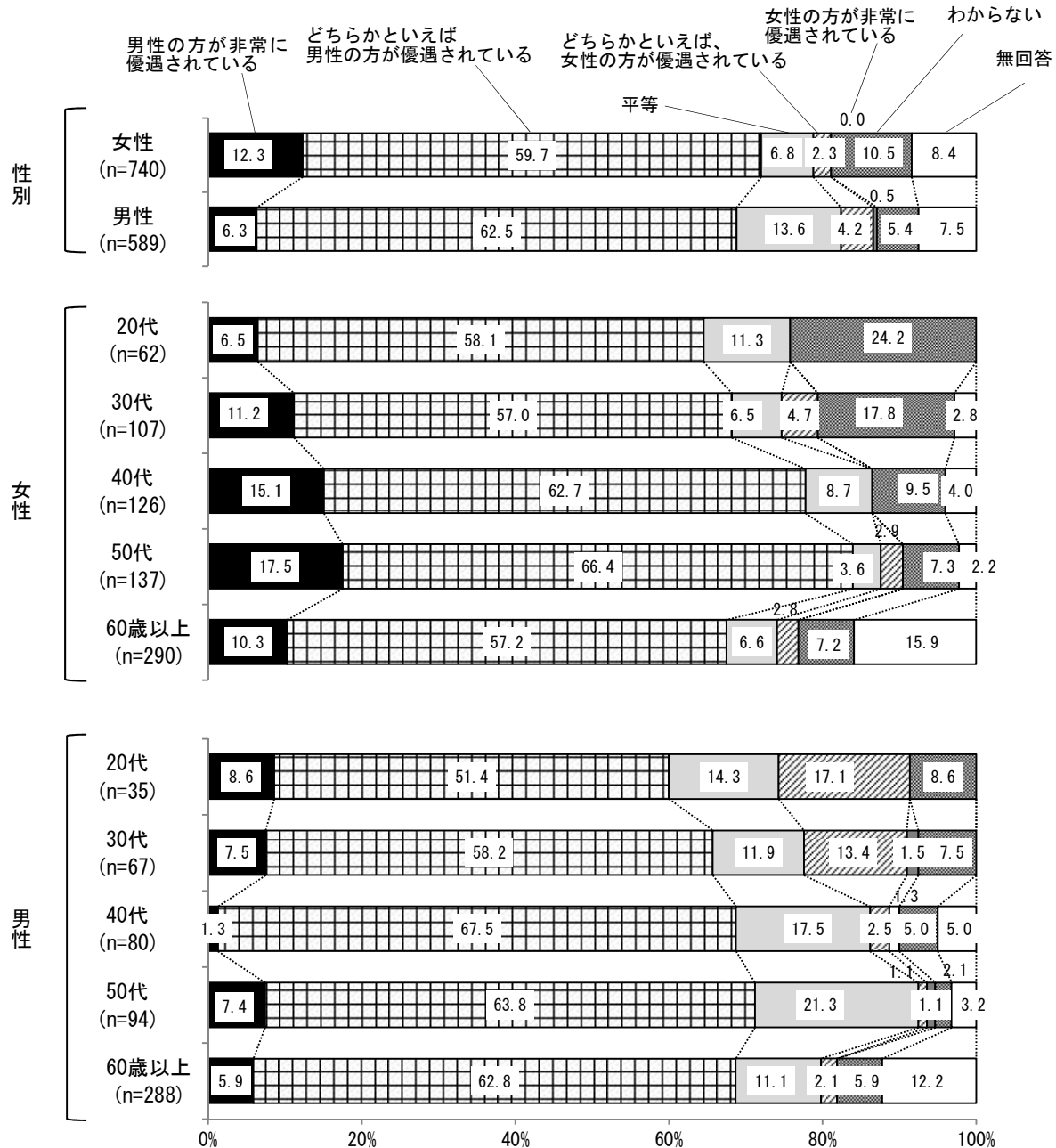
#### ④ 「社会全体でみた場合」

##### <性別、性・年齢別>

男女ともに、『男性が優遇』は7割程度となっている。また、「平等」は男性(13.6%)が女性(6.8%)を6.8ポイント上回っている。

男女ともに年齢が上がるにつれて『男性が優遇』が高くなる傾向にある。

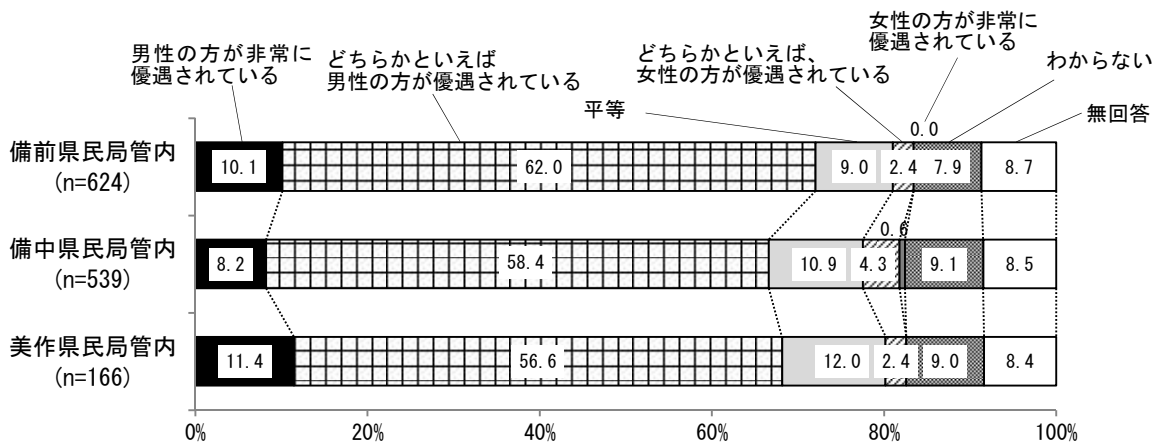
【図表 5-4-1 社会全体でみた場合（性別、性・年齢別）】



<地域別 1>

すべての地域で、『男性が優遇』は7割程度となっており、大きな差はみられない。

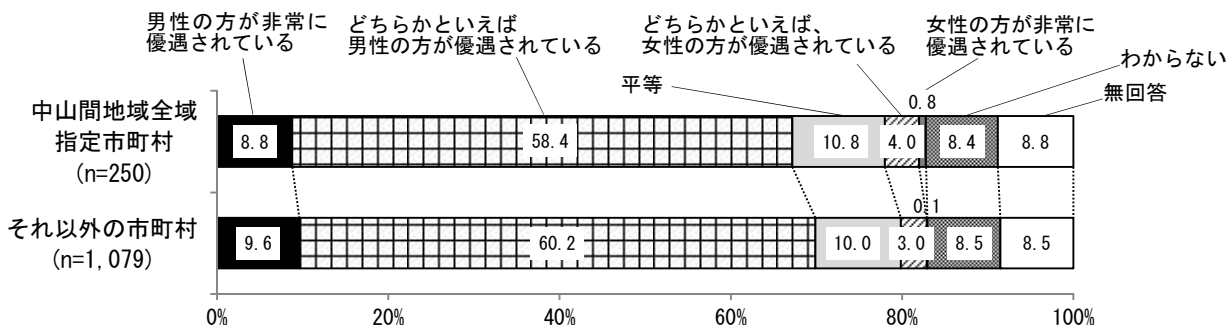
【図表 5-4-2 社会全体でみた場合（地域別 1）】



<地域別 2>

いずれの地域も、『男性が優遇』は7割程度となっており、大きな差はみられない。

【図表 5-4-3 社会全体でみた場合（地域別 2）】



<前回調査との比較>

H21年調査と比べると、『男性が優遇』は6.1ポイント上昇している。

【図表 5-4-4 社会全体でみた場合（前回調査との比較）】

(単位: %)

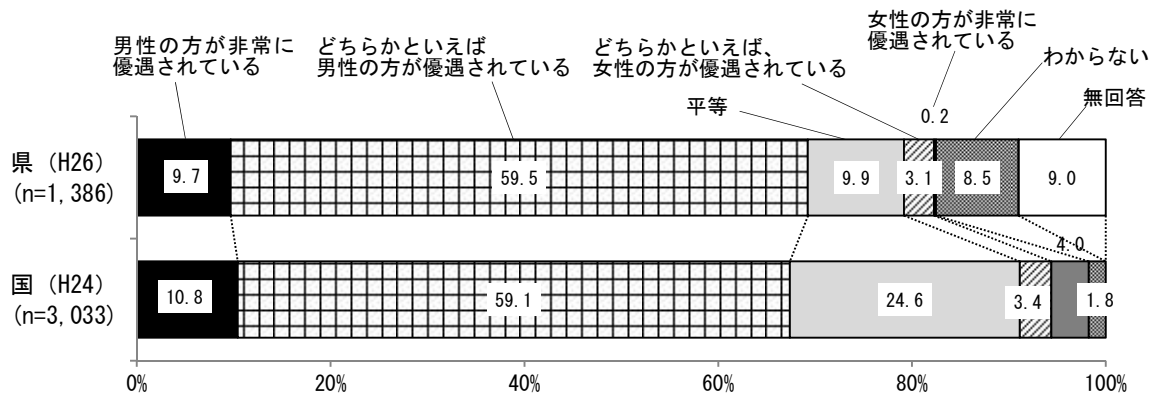
|     | 男性の方が非常に優遇されている | どちらかといえば男性の方が優遇されている | 平等   | わからない | どちらかといえば女性の方が優遇されている | 女性の方が非常に優遇されている | 男性の方が優遇されている計 | 女性の方が優遇されている計 |
|-----|-----------------|----------------------|------|-------|----------------------|-----------------|---------------|---------------|
| H16 | 17.9            | 62.5                 | 7.3  | 5.8   | 3.5                  | 0.3             | 80.4          | 3.8           |
| H21 | 6.8             | 56.4                 | 11.7 | 8.7   | 3.4                  | 0.5             | 63.2          | 3.9           |
| H26 | 9.7             | 59.5                 | 9.9  | 8.5   | 3.1                  | 0.2             | 69.3          | 3.3           |

※図表 5-4-4 は前回調査と同様に、男性の方が優遇されている計、女性の方が優遇されている計は「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の件数の合計を回答者の総数で割って集計している。そのため、「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の割合と一致しない場合がある。

<国調査との比較>

国調査と比べると、「平等」は県調査（9.9%）が国調査（24.6%）を14.7ポイント下回っている。

【図表 5-4-5 社会全体でみた場合（国調査との比較）】



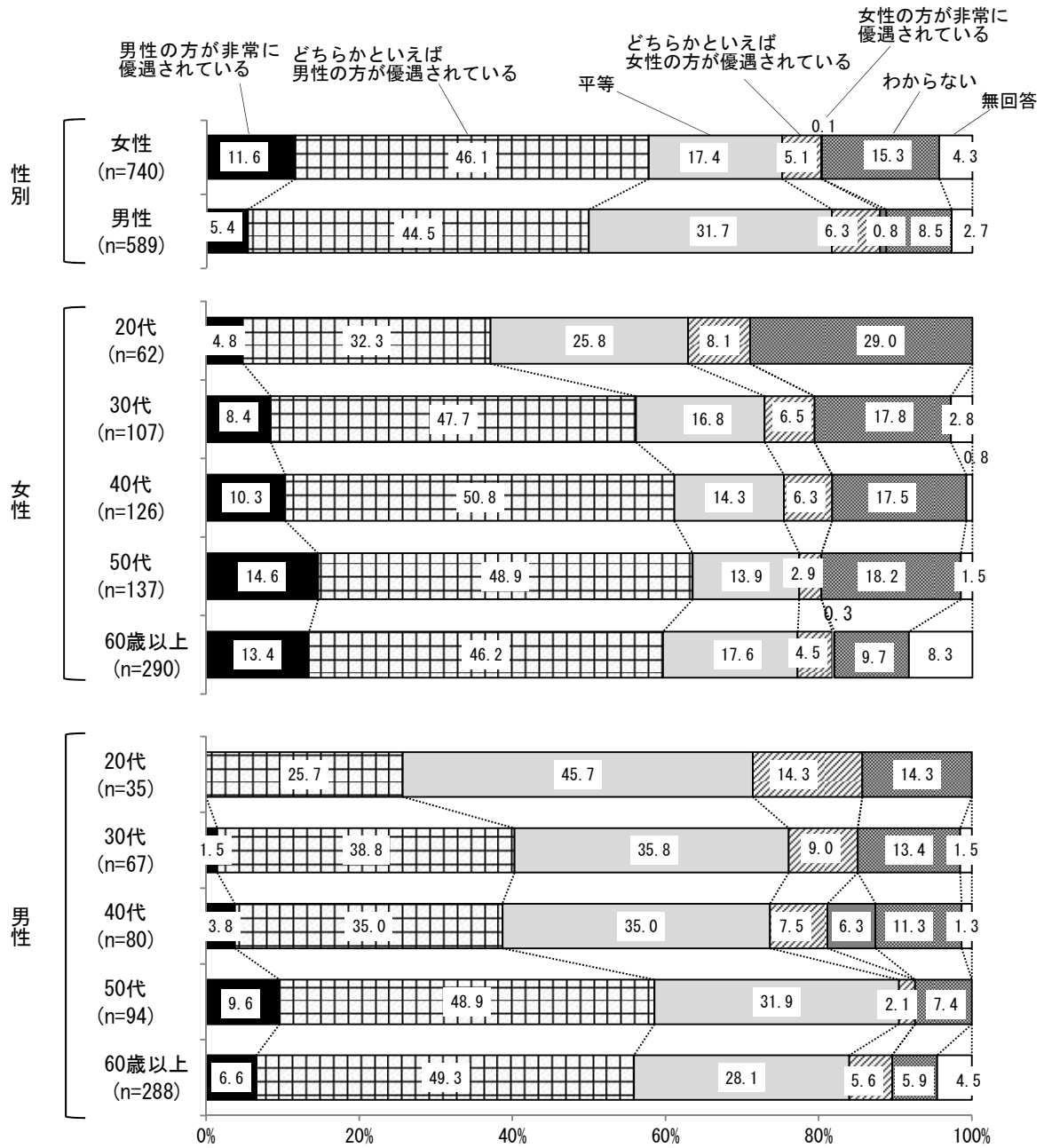
⑤ 「地域社会で」

<性別、性・年齢別>

性別にみると、『男性が優遇』は女性（57.7%）が男性（49.9%）を7.8ポイント、「平等」は男性（31.7%）が女性（17.4%）を14.3ポイント上回っている。

性・年齢別にみると、女性は、年齢が上がるにつれて『男性が優遇』の割合が高くなる傾向にある。男性は、50代をピークに年齢が上下するにつれて『男性が優遇』の割合が低くなる傾向がある。

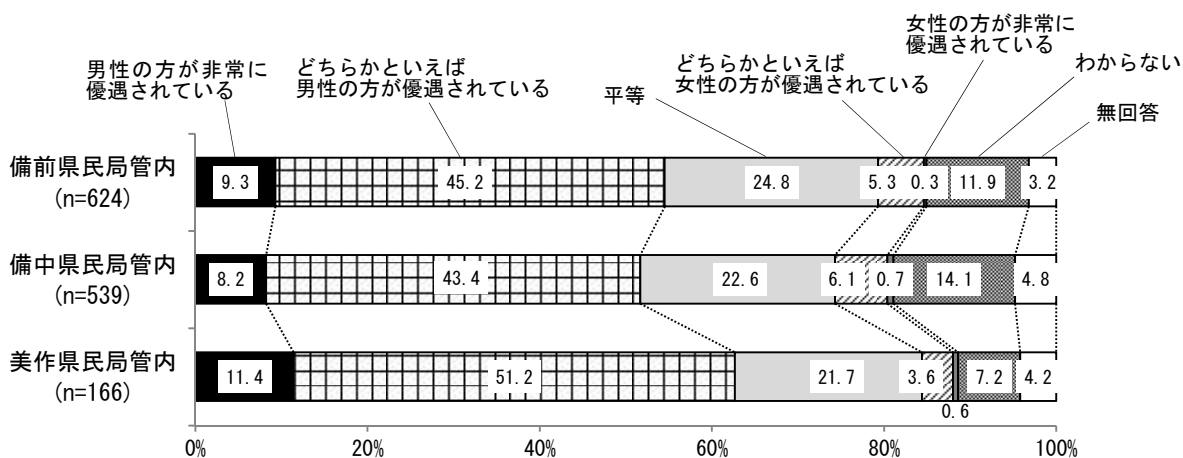
【図表 5-5-1 地域社会で（性別、性・年齢別）】



<地域別 1>

美作県民局管内は『男性が優遇』が 62.6% と他の地域と比べ、10.0 ポイント程度高くなっている。

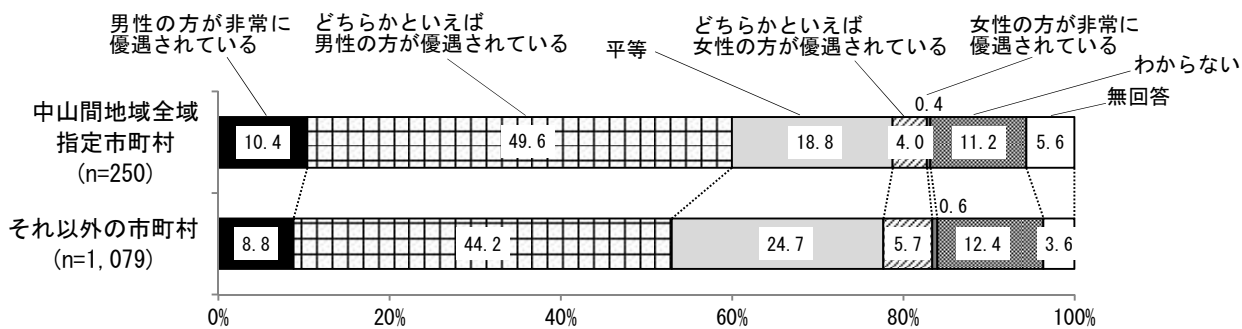
【図表 5-5-2 地域社会で（地域別 1）】



<地域別 2>

『男性が優遇』は中山間地域全域指定市町村(60.0%)がそれ以外の市町村(53.0%)を 7.0 ポイント上回っている。

【図表 5-5-3 地域社会で（地域別 2）】



<前回調査との比較>

H21年調査と比べると、『男性が優遇』は6.1ポイント上昇している。

【図表 5-5-4 地域社会で（前回調査との比較）】

(単位: %)

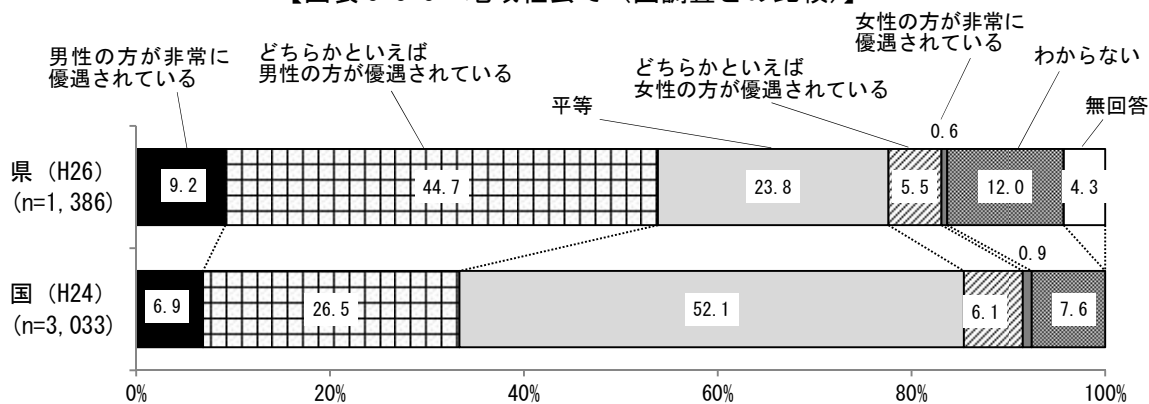
|     | 男性の方が非常に優遇されている | どちらかといえば男性の方が優遇されている | 平等   | わからない | どちらかといえば女性の方が優遇されている | 女性の方が非常に優遇されている | 男性の方が優遇されている計 | 女性の方が優遇されている計 |
|-----|-----------------|----------------------|------|-------|----------------------|-----------------|---------------|---------------|
| H12 | 13.4            | 45.0                 | 22.2 | 10.7  | 3.8                  | 0.4             | 58.4          | 4.2           |
| H16 | 11.6            | 45.8                 | 22.1 | 11.4  | 4.8                  | 1.0             | 57.4          | 5.8           |
| H21 | 8.2             | 39.5                 | 24.0 | 13.8  | 4.7                  | 0.7             | 47.7          | 5.4           |
| H26 | 9.2             | 44.7                 | 23.8 | 12.0  | 5.5                  | 0.6             | 53.8          | 6.1           |

※図表 5-5-4 は前回調査と同様に、男性の方が優遇されている計、女性の方が優遇されている計は「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の件数の合計を回答者の総数で割って集計している。そのため、「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の割合の合計と一致しない場合がある。

<国調査との比較>

国調査と比べると、「平等」は県調査（23.8%）が国調査（52.1%）を28.3ポイント下回り、『男性が優遇』は県調査（53.9%）が国調査（33.4%）を20.5ポイント上回っている。

【図表 5-5-5 地域社会で（国調査との比較）】



※国調査は「自治会やNPOなどの地域活動の場」



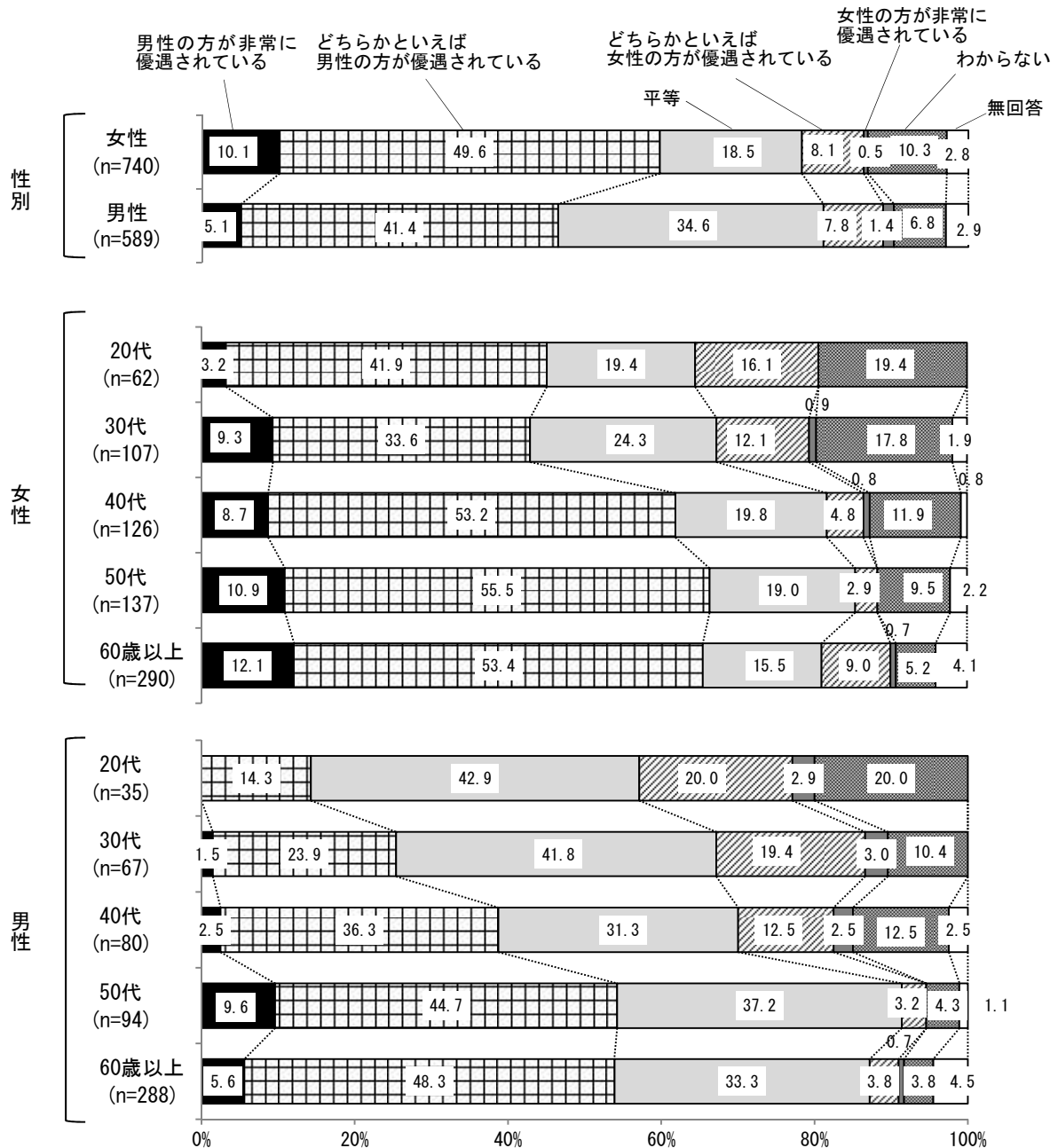
## ⑥「家庭生活で」

### <性別、性・年齢別>

性別にみると、『男性が優遇』は女性（59.7%）が男性（46.5%）を13.2ポイント、「平等」は男性（34.6%）が女性（18.5%）を16.1ポイント上回っている。

性・年齢別にみると、男性20代、30代は『男性が優遇』よりも「平等」が高くなっている。

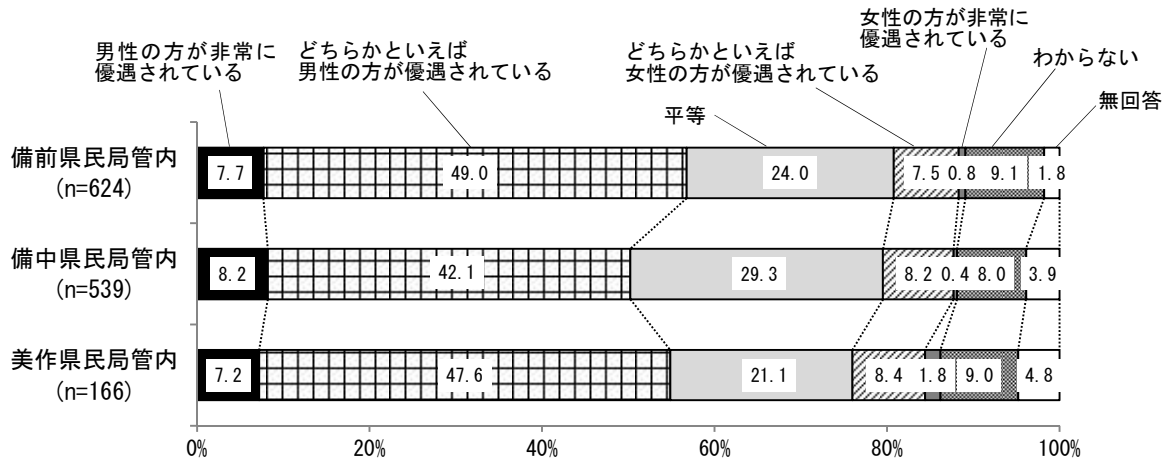
【図表 5-6-1 家庭生活で（性別、性・年齢別）】



<地域別 1>

すべての地域で、『男性が優遇』は5割を超えている。また、「平等」は備前県民局管内（29.3%）が最も高く、美作県民局管内（21.1%）が最も低くなっており、8.2ポイントの差がある。

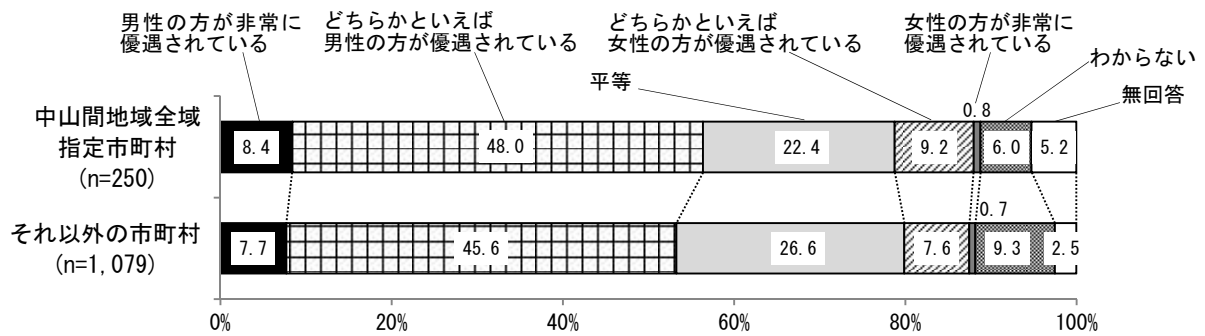
【図表 5-6-2 家庭生活で（地域別 1）】



<地域別 2>

いずれの地域も、『男性が優遇』は5割を超えており、大きな差はみられない。

【図表 5-6-3 家庭生活で（地域別 2）】



<前回調査との比較>

H21年調査と比べると、『男性が優遇』、『女性が優遇』、『平等』の割合はほぼ横ばいで、大きな変化はみられない。

【図表 5-6-4 家庭生活で（前回調査との比較）】

(単位: %)

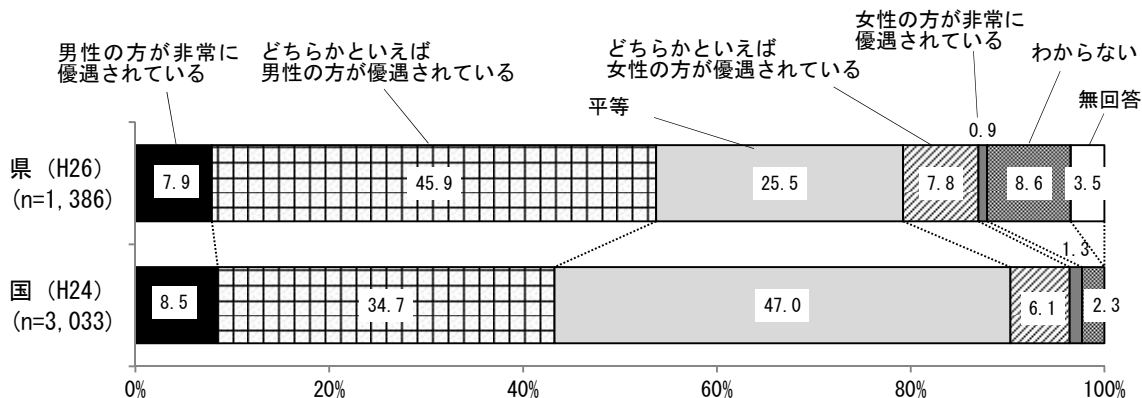
|     | 男性の方が非常に優遇されている | どちらかといえば男性の方が優遇されている | 平等   | わからない | どちらかといえば女性の方が優遇されている | 女性の方が非常に優遇されている | 男性の方が優遇されている計 | 女性の方が優遇されている計 |
|-----|-----------------|----------------------|------|-------|----------------------|-----------------|---------------|---------------|
| H12 | 15.0            | 50.1                 | 20.6 | 6.9   | 4.2                  | 0.8             | 65.1          | 5.0           |
| H16 | 11.0            | 49.5                 | 25.2 | 5.5   | 5.7                  | 0.9             | 60.5          | 6.6           |
| H21 | 7.3             | 42.4                 | 27.2 | 7.4   | 5.7                  | 1.5             | 49.7          | 7.2           |
| H26 | 7.9             | 45.9                 | 25.5 | 8.6   | 7.8                  | 0.9             | 53.8          | 8.7           |

※図表 5-6-4 は前回調査と同様に、男性の方が優遇されている計、女性の方が優遇されている計は「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の件数の合計を回答者の総数で割って集計している。そのため、「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の割合の合計と一致しない場合がある。

<国調査との比較>

国調査と比べると、「平等」は県調査（25.5%）が国調査（47.0%）を21.5ポイント下回っている。

【図表 5-6-5 家庭生活で（国調査との比較）】



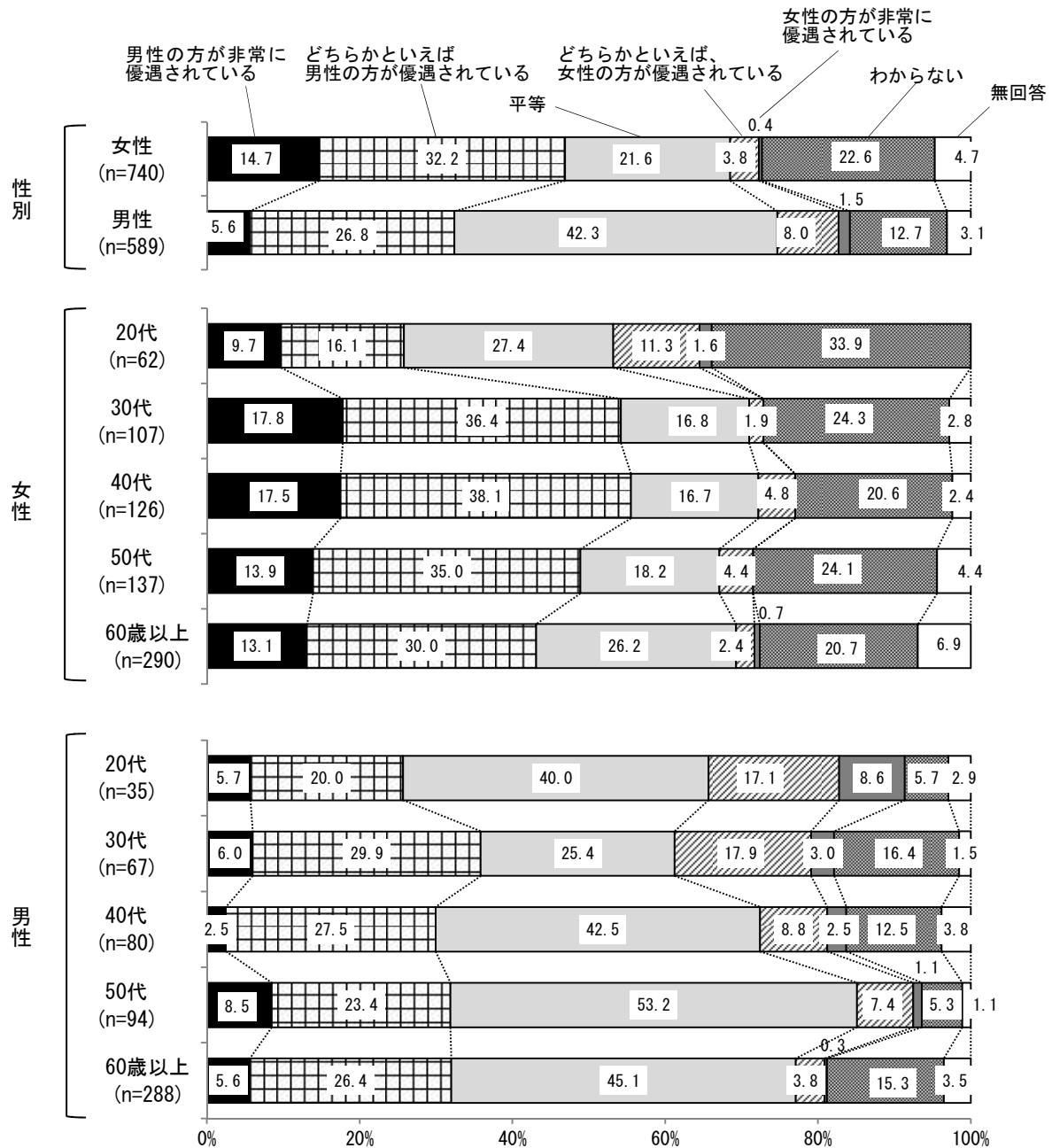
⑦「法律や制度の上で」

<性別、性・年齢別>

性別にみると、「平等」は男性（42.3%）が女性（21.6%）を20.7ポイント上回っている。

性・年齢別にみると、女性は、「平等」が20代（27.4%）、60歳以上（26.2%）を除き、1割を超えている。男性は、30代（25.4%）を除き、4割以上となっている。

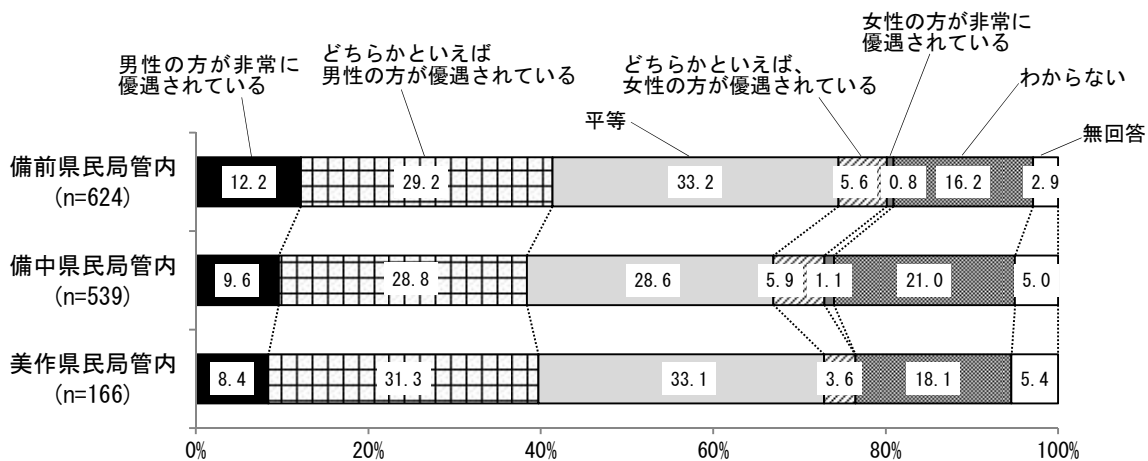
【図表 5-7-1 法律や制度の上で（性別、性・年齢別）】



<地域別 1>

すべての地域で、『男性が優遇』が4割前後となっており、大きな差はみられない。

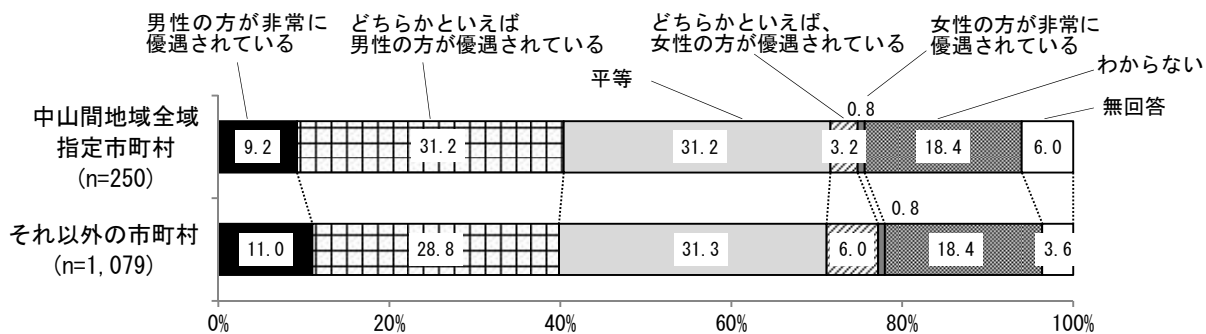
【図表 5-7-2 法律や制度の上で（地域別 1）】



<地域別 2>

いずれの地域も、『男性が優遇』が4割程度となっており、大きな差はみられない。

【図表 5-7-3 法律や制度の上で（地域別 2）】



<前回調査との比較>

H21年調査と比べると、『男性が優遇』、『女性が優遇』、『平等』の割合はほぼ横ばいで、大きな変化はみられない。

【図表 5-7-4 法律や制度の上で（前回調査との比較）】

(単位: %)

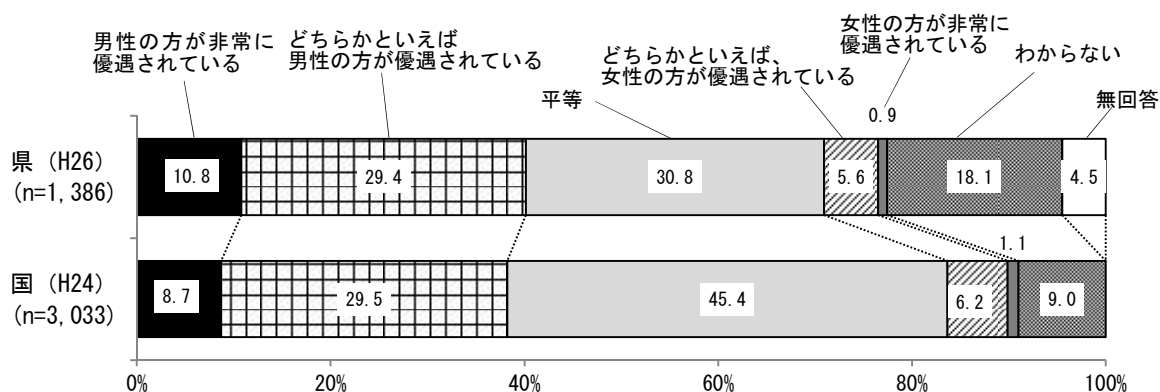
|     | 男性の方が非常に優遇されている | どちらかといえば男性の方が優遇されている | 平等   | わからない | どちらかといえば女性の方が優遇されている | 女性の方が非常に優遇されている | 男性の方が優遇されている計 | 女性の方が優遇されている計 |
|-----|-----------------|----------------------|------|-------|----------------------|-----------------|---------------|---------------|
| H12 | 12.4            | 33.7                 | 31.7 | 12.6  | 4.2                  | 0.8             | 46.1          | 5.0           |
| H16 | 14.0            | 33.7                 | 26.8 | 16.3  | 5.3                  | 0.8             | 47.7          | 6.1           |
| H21 | 7.8             | 29.7                 | 30.9 | 15.6  | 5.7                  | 0.7             | 37.5          | 6.4           |
| H26 | 10.8            | 29.4                 | 30.8 | 18.1  | 5.6                  | 0.9             | 40.1          | 6.4           |

※図表 5-7-4 は前回調査と同様に、男性の方が優遇されている計、女性の方が優遇されている計は「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の件数の合計を回答者の総数で割って集計している。そのため、「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の割合の合計と一致しない場合がある。

<国調査との比較>

国調査と比べると、「平等」は県調査（30.8%）が国調査（45.4%）を14.6ポイント下回っている。

【図表 5-7-5 法律や制度の上で（国調査との比較）】



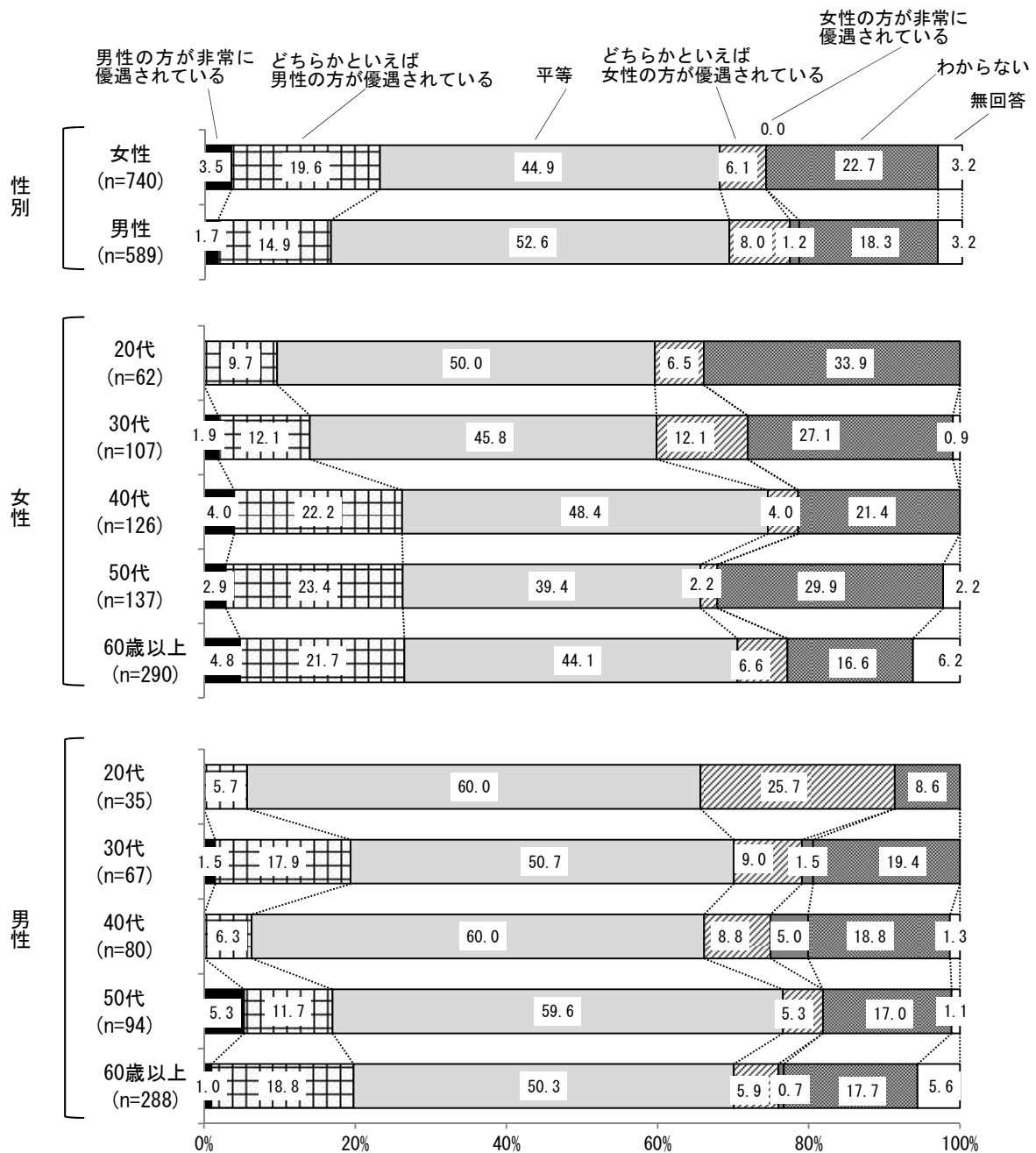
## ⑧ 「学校教育の現場で」

### <性別、性・年齢別>

性別にみると、「平等」は男性（52.6%）が女性（44.9%）を7.7ポイント上回っている。

性・年齢別にみると、「平等」は男性のすべての年代で5割を超えているが、女性は20代のみ5割を超えている。

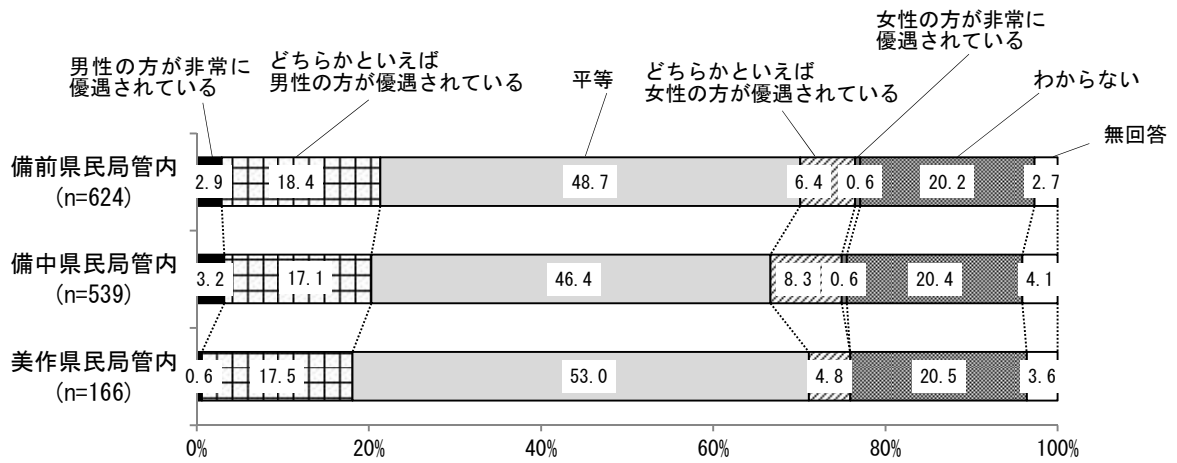
【図表 5-8-1 学校教育の現場で（性別、性・年齢別）】



<地域別 1>

美作県民局管内は「平等」が53.0%と他の地域と比べ、最も高くなっている。

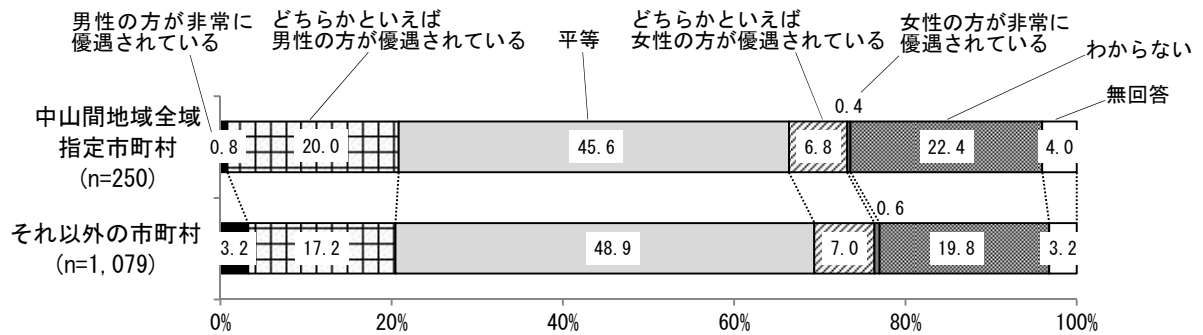
【図表 5-8-2 学校教育の現場で（地域別 1）】



<地域別 2>

いずれの地域も、『男性が優遇』が2割程度と、大きな差はみられない。

【図表 5-8-3 学校教育の現場で（地域別 2）】





<前回調査との比較>

H21年調査と比べると、『男性が優遇』は、5.1ポイント上昇している。

【図表 5-8-4 学校教育の現場で（前回調査との比較）】

(単位: %)

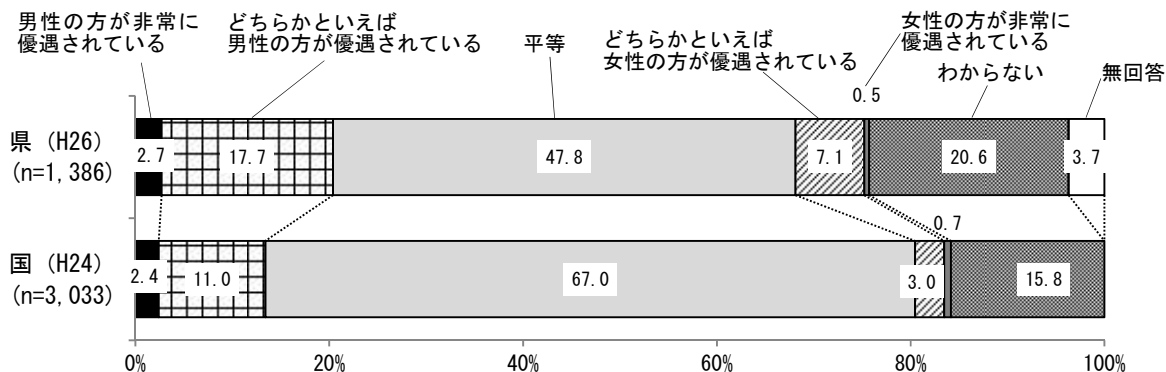
|     | 男性の方が非常に優遇されている | どちらかといえば男性の方が優遇されている | 平等   | わからない | どちらかといえば女性の方が優遇されている | 女性の方が非常に優遇されている | 男性の方が優遇されている計 | 女性の方が優遇されている計 |
|-----|-----------------|----------------------|------|-------|----------------------|-----------------|---------------|---------------|
| H12 | 3.5             | 21.5                 | 48.8 | 14.5  | 6.2                  | 1.1             | 25.0          | 7.3           |
| H16 | 3.9             | 16.4                 | 48.5 | 18.1  | 7.6                  | 1.6             | 20.3          | 9.2           |
| H21 | 2.4             | 12.9                 | 48.1 | 19.7  | 6.0                  | 1.0             | 15.3          | 7.0           |
| H26 | 2.7             | 17.7                 | 47.8 | 20.6  | 7.1                  | 0.5             | 20.4          | 7.6           |

※図表 5-8-4 は前回調査と同様に、男性の方が優遇されている計、女性の方が優遇されている計は「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の件数の合計を回答者の総数で割って集計している。そのため、「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の割合の合計と一致しない場合がある。

<国調査との比較>

国調査と比べると、「平等」は県調査（47.8%）が国調査（67.0%）を19.2ポイント下回っている。

【図表 5-8-5 学校教育の現場で（国調査との比較）】

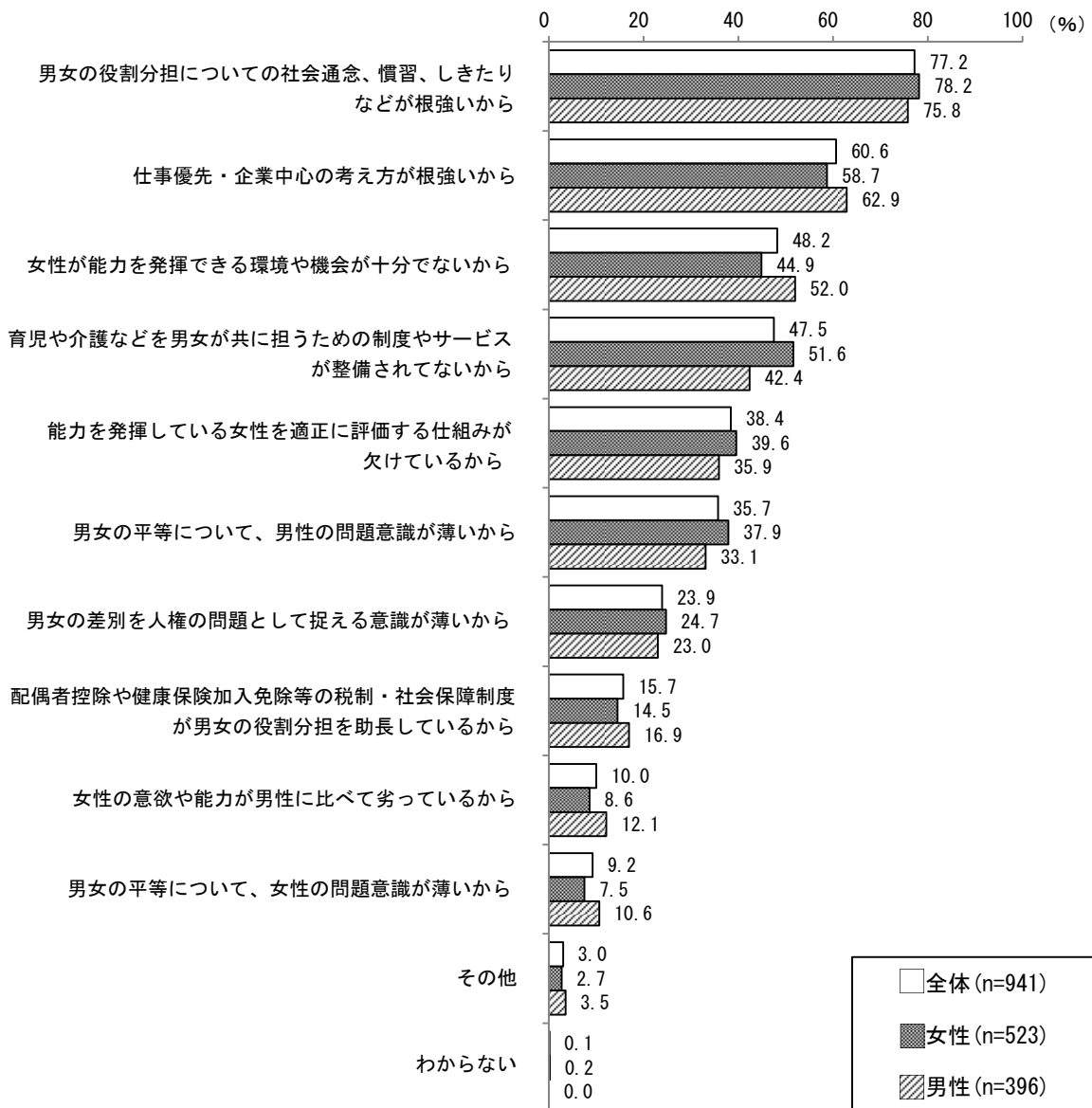


## (2) 男性の方が優遇されていると思う原因

問5 (h) 「社会全体でみた場合」で、1または2と答えた方のみお答えください。

問6 では、社会全体でみて男性の方が優遇されている原因は何だとお考えですか。次の中からあてはまるものをすべてお答えください。(○印はいくつでも)

【図表 6-1 社会全体で男性の方が優遇されている原因】



### ◆「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから」、「仕事優先・企業中心の考え方が根強いから」などが上位に

社会全体で男性の方が優遇されていると思う原因について、「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから」が77.2%と最も高く、次いで「仕事優先・企業中心の考え方が根強いから」(60.6%)、「女性が能力を発揮できる環境や機会が十分でないから」(48.2%)、「育児や介護などを男女が共に担うための制度やサービスが整備されていないから」(47.5%)などの順となっている。

性別にみると、男女ともに「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから」が最も高くなっている。「女性が能力を発揮できる環境や機会が十分でないから」（女性：44.9%、男性：52.0%）は、男性が女性を大きく上回っている。反対に、「育児や介護などを男女が共に担うための制度やサービスが整備されていないから」（女性：51.6%、男性：42.4%）は、女性が男性を大きく上回っている。

### <性・年齢別>

男女ともにすべての年代で「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから」が最も高くなっている。次いで、女性 30 代を除いた年代で「仕事優先・企業中心の考え方が根強いから」の順になっている。

【図表 6-2 社会全体で男性の方が優遇されている原因（性・年齢別）】

（単位：%）

|    |       | 1位                               |      | 2位                                   |      | 3位   |      |
|----|-------|----------------------------------|------|--------------------------------------|------|--|------|
| 女性 | 20代   | 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから | 65.0 | 仕事優先・企業中心の考え方が根強いから                  | 52.5 | 育児や介護などを男女が共に担うための制度やサービスが整備されていないから                           | 47.5 |
|    | 30代   | 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから | 72.6 | 育児や介護などを男女が共に担うための制度やサービスが整備されていないから | 50.7 | 仕事優先・企業中心の考え方が根強いから  | 49.3 |
|    | 40代   | 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから | 79.4 | 仕事優先・企業中心の考え方が根強いから                  | 54.6 | 男女の平等について、男性の問題意識が薄いから   | 49.5 |
|    | 50代   | 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから | 83.5 | 仕事優先・企業中心の考え方が根強いから                  | 63.5 | 育児や介護などを男女が共に担うための制度やサービスが整備されていないから                           | 48.7 |
|    | 60歳以上 | 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから | 79.1 | 仕事優先・企業中心の考え方が根強いから                  | 63.6 | 育児や介護などを男女が共に担うための制度やサービスが整備されていないから                           | 55.6 |
| 男性 | 20代   | 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから | 61.9 | 仕事優先・企業中心の考え方が根強いから                  | 52.4 | 男女の平等について、男性の問題意識が薄いから<br>育児や介護などを男女が共に担うための制度やサービスが整備されていないから | 42.9 |
|    | 30代   | 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから | 65.1 | 仕事優先・企業中心の考え方が根強いから                  | 62.8 | 女性が能力を発揮できる環境や機会が十分でないから                                       | 53.5 |
|    | 40代   | 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから | 66.0 | 仕事優先・企業中心の考え方が根強いから                  | 62.3 | 女性が能力を発揮できる環境や機会が十分でないから                                       | 54.7 |
|    | 50代   | 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから | 81.8 | 仕事優先・企業中心の考え方が根強いから                  | 57.6 | 女性が能力を発揮できる環境や機会が十分でないから                                       | 50.0 |
|    | 60歳以上 | 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから | 79.8 | 仕事優先・企業中心の考え方が根強いから                  | 67.4 | 女性が能力を発揮できる環境や機会が十分でないから                                       | 54.4 |

<地域別 1>

すべての地域で、「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから」が7割を超え最も高く、次いで「仕事優先・企業中心の考え方が根強いから」の順となっている。

【図表 6-3 社会全体で男性の方が優遇されている原因（地域別 1）】

(単位:%)

|    | 備前県民局管内  |      | 備中県民局管内                          |      | 美作県民局管内                              |      |
|----|--|------|----------------------------------|------|--------------------------------------|------|
| 1位 | 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから                                 | 77.2 | 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから | 75.6 | 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから     | 82.0 |
| 2位 | 仕事優先・企業中心の考え方が根強いから  | 64.7 | 仕事優先・企業中心の考え方が根強いから              | 57.5 | 仕事優先・企業中心の考え方が根強いから                  | 57.7 |
| 3位 | 女性が能力を発揮できる環境や機会が十分でないから<br>育児や介護などを男女が共に担うための制度やサービスが整備されていないから | 50.1 | 女性が能力を発揮できる環境や機会が十分でないから         | 45.6 | 育児や介護などを男女が共に担うための制度やサービスが整備されていないから | 52.3 |

<地域別 2>

いずれの地域も、「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから」が最も高く、中山間地域全域指定市町村(84.8%)がそれ以外の市町村(75.5%)を9.3ポイント上回っている。

【図表 6-4 社会全体で男性の方が優遇されている原因（地域別 2）】

(単位:%)

|    | 中山間地域全域指定市町村   |      | それ以外の市町村                         |      |
|----|--|------|----------------------------------|------|
| 1位 | 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから                                 | 84.8 | 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから | 75.5 |
| 2位 | 仕事優先・企業中心の考え方が根強いから  | 59.4 | 仕事優先・企業中心の考え方が根強いから              | 61.4 |
| 3位 | 女性が能力を発揮できる環境や機会が十分でないから<br>育児や介護などを男女が共に担うための制度やサービスが整備されていないから | 46.1 | 女性が能力を発揮できる環境や機会が十分でないから         | 50.0 |

<前回調査との比較>

H21年調査と比べると、前回に引き続き、「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから」が最も高く、次いで「仕事優先・企業中心の考え方が根強いから」の順となっている。

【図表 6-5 社会全体で男性の方が優遇されている原因（前回調査との比較）】

(単位:%)

|    | H26年                             |      | H21年                                  |      | H16年                             |      |
|----|----------------------------------|------|---------------------------------------|------|----------------------------------|------|
| 1位 | 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから | 77.2 | 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから      | 76.9 | 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから | 74.4 |
| 2位 | 仕事優先・企業中心の考え方が根強いから              | 60.6 | 仕事優先・企業中心の考え方が根強いから                   | 62.9 | 仕事優先・企業中心の考え方が根強いから              | 56.5 |
| 3位 | 女性が能力を発揮できる環境や機会が十分でないから         | 48.2 | 育児や介護などを男女がともに担うための制度やサービスが整備されていないから | 47.1 | 女性が能力を発揮できる環境や機会が十分でないから         | 44.2 |